

澁はつらつ刺

第6号

2023.02

津田学園高等学校
学校通信

『澁刺』の第6号をお届けします。今号では、セブ島語学研修・修学旅行・文化祭・体育祭に関する生徒の声と今年度の三重県高等学校総合体育大会以降に活躍した部活動の生徒の声をお届けします。また裏面には、卒業を迎える3年生への各先生からのコメントと表彰者一覧を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

セブ島語学研修レポート

12月11日から18日に行われた、セブ島語学研修に参加しました。研修先の語学学校では、ネイティブの先生によるマンツーマン授業やグループレッスンを通して、より実践的な英語を学ぶことができました。新型コロナウイルスの影響で、感染拡大前よりも研修期間が短く、一週間の研修でしたが、語学学校の先生と積極的にコミュニケーションを取ることで、とても充実した時間を過ごすことができました。全ての授業を終えると、市内観光に行きました。そこでは、セブ島の自然や人、歴史に触れる機会がたくさんあり、文化の違いを肌で感じました。その中でも特に印象的だったのは、裕福層と貧困層の経済格差です。現在、経済格差は、フィリピン全体で大きな社会問題になっています。このように、実際に現地に行くことでしか感じられないことが多くありました。外国語は、国の文化や歴史に関わらず、私たちと世界中の人たちをつないでくれます。これからも、「異文化共生」を意識して、外国語力を高めていきたいです。



特別進学コース2年
須崎 奈帆さん
陵成中学校出身



津田学園教育基金

津田学園教育基金サポーターは、子どもたちの未来につながる教育活動をサポートするご寄付のかたちです。令和4年度の特別サポーターとして右記の企業からセブ島語学研修に対してサポートしていただきました。

株式会社あいカンパニー
アイサン物流株式会社
株式会社三十三銀行
名古屋管公学生服株式会社

富士丸産業株式会社
北勢商事株式会社
株式会社三重給食センター
名鉄観光サービス株式会社 (50音順)

修学旅行レポート

総合進学コース2年 三木かなえさん
陵成中学校出身

コロナ禍により台湾への修学旅行から福岡、長崎、熊本、山口への国内の修学旅行になりましたが、たくさん学ぶことや楽しむことができました。11月14日から18日の日程で行われ、1日目の太宰府天満宮では、学問の神様を参拝しましたが、名物の梅ヶ枝餅に描かれた梅の花は太宰府天満宮の家紋であり、その歴史を知るとともにその味を堪能しました。2日目の長崎では、原爆資料館を訪ね戦争の恐ろしさを感じ、世界の平和を心の底から願いました。3・4日目の熊本では地震について学びました。2016年に発生した地震の実際の断層や、復興中の熊本城の城壁を見て地球の凄さを感じ、防災意識が高まりました。5日目は山口の萩博物館と松陰神社を訪れました。松陰神社では松下村塾の歴史を知り、吉田松陰がどんな身分の人も関係なく受け入れたから、明治維新に関わる逸材を育てることができたのではないかと、考えを深めることができました。仲間と協力して事前学習や自由行動の中での学びがあったからこそできた、楽しい修学旅行でした。



文化祭レポート

文化祭は、9月15日16日に行われ、毎年2日間にわたって行われています。1日目は、1・2年生は各クラスで展示や舞台発表を行います。この日のために何ヶ月も前からクラスの仲間と放課後の時間や部活の合間を縫って準備を行います。例年では3年生は模擬店を行います。今年も新型コロナウイルスの影響で店を出すことはできませんでした。ですが、3年生の一部のクラスは有名なゲームでeスポーツ大会を行うという企画をしており多くの人が楽しんで参加していました。2日目は、午前はパフォーマーの方をお招きし、午後はダンス部やバレエ部、剣道部による劇やダンスで盛り上がりました。私のクラスは映えスポットと有名テレビ番組のテーブルゲームを再現しました。クラスの仲間と協力して制作したことによりクラスの絆がより深まったと感じました。文化祭は誰もが笑顔で楽しめる行事です。

特別進学コース2年 奥田 祐也さん
光陵中学校出身



体育祭レポート

毎年恒例、10月の東員スタジアムでの体育祭ですが、令和4年度は天候のために、11月2日に開催されました。今年度の体育祭は、従来の学年別クラス対抗ではなく、全校生徒を赤・黄・緑・青の4つに色分けした、チーム対抗戦の新しい形で行われました。リレー・大玉・徒競走など恒例の種目で競いましたが、3学年、他のクラスの生徒と、力を合わせて戦うことが新鮮で、特に綱引きでは、学年やクラスを超えて、チームで一体感を得られる、とても印象に残る競技となりました。スポーツが苦手だった私も、先輩や後輩関係なく皆で全力で楽しむことができました。来年度は、さらに楽しむことができるように、皆で企画を考えて取り組んでいきたいと思っています。

特別選抜コース1年 井上 晃輔さん
三滝中学校出身



水泳部

昨年11月に開催された日本パラ水泳競技大会で日本新記録を樹立することができました。記録を出すためにスタート時の飛び込み練習に特に力を入れて取り組みました。その結果、レース本番では飛び込みがうまくでき、前半からスピードに乗ったレース展開で新記録を出すことができました。とてもうれしかったです。今年の目標は海外の試合にも出場して、日本代表選手に選ばれることです。そのために毎日の練習を精一杯頑張っていきたいと思っています。



総合進学コース2年 相澤 稜翔さん
明正中学校出身



2022年第39回日本パラ水泳競技大会
100m平泳ぎ 優勝 日本新記録樹立

部活動レポート

女子サッカー部

総合進学コース2年 石川 透空さん
保々中学校出身



私たち女子サッカー部は県大会で優勝を目指しています。秋の三重県高校女子サッカー選手権では3位になりました。目標としていた優勝には届きませんでしたが選手権で得た課題を克服するべく日々練習に取り組んでいます。また、外部コーチの指導の元、部員それぞれの個性を活かしたチーム作りをしています。それぞれの個性を尊重することでみんながのびのびと楽しんでサッカーをしています。これからも目標に向かって頑張ります。

第17回三重県高等学校女子サッカー選手権 第3位
第22回三重県高等学校女子サッカー新人戦大会 ベスト4



ゴルフ部

8月に行われた全国高等学校ゴルフ選手権大会の団体女子の部に出場しました。3年生の先輩方と優勝を目指して挑みましたが、結果は16位で悔しい思いをしました。先輩達3人は、10月に行われた栃木国体の女子ゴルフ競技に三重県代表として出場され10位でした。国体は3人のトータルスコアで競技が行われますが、本校から2年連続で3人が代表として選ばれています。私自身は夏に初めて全国大会の雰囲気味わうことができ、大きな自信に繋がりました。その経験が12月に行われた全国大会の予選大会に活かされ、3月に行われる全国高等学校ゴルフ選手権春季大会の出場権を得ることができました。これからは先輩達に教わったことを後輩に伝えていけるよう頑張っていきたいと思っています。

総合進学コース1年 林 美凧さん
鈴峰中学校出身



全国高等学校ゴルフ選手権大会 文部科学大臣旗争奪 第43回 団体女子の部 第16位
とちぎ国体ゴルフ競技女子 第10位 三重県(稲葉千乃3年 卯月愛湖3年 山本瑠奈3年)
三重県高等学校ゴルフ選手権新人大会 第2位
全国高等学校ゴルフ選手権春季大会 文部科学大臣旗争奪 第43回女子個人の部 出場



スキー部

2月7日から11日まで山形県赤倉温泉スキー場で行われた第72回インターハイに出場しました。練習はコロナの影響で満足にできなかったとは言えませんが、本番に向けて最善の準備ができたと思います。当日は起きる時間の1時間前に起きてしまうほど緊張しましたが、スタート台に立つと自然と緊張はほぐれていきました。結果はあまり良いものとは言えませんが自分の全てを出し切った結果なので満足しています。



総合進学コース2年 伊勢 琢翔さん
菟野中学校出身



第72回全国高等学校スキー大会
男子GSL 117位
男子SL 129位

陸上競技部

私たち陸上競技部の目標は「もう1つ上のステージへ」です。昨年度は4名の県大会入賞、3名の東海大会出場、東海新人大会2名の入賞(過去最高人数&過去最多入賞)を決めました。私も東海新人大会の5000mで第2位に入賞することができました。今年度の目標は、もちろん東海大会の上のステージである全国大会への出場権獲得です。私だけでなく、部員全員が1つでも上のステージに進めるように、日々一生懸命に練習に励んでいます。



特別進学コース2年 塚本 瑞起さん
陵成中学校出身



・第61回三重県高等学校新人陸上競技権大会
男子5000m 第4位 男子走幅跳 第6位
男子やり投げ 第6・7位 →東海大会3名出場
・第25回東海高校新人選手権
男子5000m 第2位 男子走幅跳 第7位
・DENSOカップ 男子3000m 優勝

柔道部

特別進学コース2年 金田はるかさん
木曾岬中学校出身



1月14日と21日に三重県高等学校柔道新人大会が行われました。男子個人で第5位、女子団体で第3位、女子個人で準優勝という結果を収めることができました。5月のインターハイ予選に向け、男子は団体・個人でベスト4以上、女子団体は3位を維持できるようにここからの練習を頑張っていきたいです。また、私はインターハイ出場を目指して、自分の弱点を補強していくことを目標に毎日頑張っています。



三重県高等学校柔道新人大会
男子個人81kg級 第5位
女子個人52kg級 準優勝
女子団体 第3位

テニス部



私たちテニス部は県大会優勝、東海大会そして更に全国大会出場に向けて日々の部活に励んでいます。昨年は新人戦、県総体共に3位という悔しい結果に終わってしまいました。悔しい思いをしてから約1年、私たちは技術、体力、精神力を鍛えてきました。そして新人戦で私たちは準優勝を果たし東海大会出場を決めました。全国に向けていつも以上に気合を入れて練習をしました。僕たちは今までやってきたことを出し切りましたが、結果は8位という結果に終わってしまい全国を逃しました。悔しい結果ではありましたが、ミーティングを重ねみんなで意見を出し合い、全国大会出場を果たせるように仲間と切磋琢磨していきたいと思っています。

総合進学コース2年 高橋 匠さん
光陵中学校出身



三重県高等学校テニス選手権大会
1・2年生男子シングルス 第4位 第8位 男子団体 準優勝 女子団体 第8位
三重県高等学校新人大会テニス競技の部 男子団体 準優勝 女子団体 第7位
第45回全国選抜高校テニス選手権大会東海地区予選大会 男子団体出場

みえ探究フォーラム2022



特別選抜コース2年 水谷 友亮さん

宿場町・桑名観光グルメガイド～ユニバーサルデザインからSDGsへ～というテーマで最優秀賞を戴きました。先生方にもアドバイスを頂きながら取り組んだ結果、その努力が実り大変嬉しく思います。探究活動は、疑問に思ったこと興味を持ったことを調べ、実験や検証を重ねて結論を導くので楽しく活動することができました。小さな疑問から大きな結論が生まれることもあるでしょうし、新たな発見にワクワクできると思います。個人で、グループで、皆さんも楽しみながら取り組んでみて下さい。





> 夢の実現

校長 細見 明典

卒業生の皆さん ご卒業おめでとうございます。皆さんは「Boys, be ambitious.」"青年よ 大志をいだけ"という言葉を知っていると思います。札幌農学校の教師であったクラーク博士の言葉として有名です。実はこの言葉の後には次のように言葉が続いていたのです。

Boys, be ambitious, not for money or selfish aggrandizement not for that evanescent thing which men call fame. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.

訳すと「青年よ 大志をいだけ。それは金銭や自分勝手な欲望のためでなく、また名声というむなしなもののためであってはならない。それは自分の能力の最善をつくり、自分が人として成すべきことに到達するためにあるものでなければならない」という意味です。

これからは、社会に貢献できる大きな夢を持ち、自分の能力に磨きをかけ、夢の実現に向かって突き進んでください。自分を信じて、あせらず、あわてず、一步一步進んでいって欲しいと思います。

> 次のステージに向かう君たちへ

第3学年 学年主任 曾我 彰信

みなさんは、コロナ禍で入学式から卒業式までを過ごしました。今まで誰も経験してこなかった大変な高校生活を乗り越えて今日を迎えています。この経験があれば、これからどんな苦難があっても、きっと乗り越えられるはずです。

高校生活では多くの仲間にも恵まれ、たくさんの経験をしたことでしょう。これらの経験を軸に、自分自身で判断し、自信と責任をもってこれからの人生を歩んでください。

Where there is a will, there is a way.

アメリカ 合衆国第16代 エイブラハム・リンカーンの言葉です。どんな

困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開けるという意味です。人生の中でささやかであっても目標を持ち希望を失わず希望を切り開く努力をしてほしいと思います。

我々は君たちを応援しています。君たちはこの3年間で次のステージに進む準備ができました。この先も苦難は続きます。しかしその先には乗り越えた者にしか見えない世界があります。それを手に入れて人生を謳歌してください。

Congratulations on your graduation!

> 自分が選ぶ道

進路指導主事 門脇 昌也

高校の進路指導における目標の1つは、進路を選択する力を身に付けることです。興味のある分野を深掘りすることや、将来の生活について考えること。また、理想の進路をイメージし、その実現に向けて努力を重ねること。高校の3年間では進路を選択し、選択した進路を実現するために取り組んできました。高校生活を振り返り、より良い進路選択はできたでしょうか。

今日で卒業を迎える皆さんに、これから実現してほしいことが1つあります。それは、自分が選択した道を正解にしてほしいということです。自分の将来は自分で決める。そういった強い意志を持って、自分が選んだ道が正解となるように、これからも努力を重ねてほしいと願っています。そして、新しいステージで活躍されることを期待しています。

卒業式 表彰内容等一覧

■ 私立連合会長賞 中谷 蒼 唯

■ 優良児童生徒 下飼手 拓真

■ 体育・文化賞 稲葉 千乃
※全国大会出場 山本 瑠奈
卯月 愛湖

■ 卒業証書受領者 伊藤 未光

■ 精勤賞

鈴木 知晃

中野 伶央菜

和田 麻琴

伊藤 聡彦

河田 芽依

後藤 弥琴

森 藍那

稲垣 天祥

奥谷 祐麻

杉本 駿弥

久世 きらり

川瀬 愛桜

神田 剛志

櫻井 奏太

鈴木 優太

横山 幸成

村上 蘭夢

長野 永遠

大吹 莉緒

豊島 美羽

西原 颯汰

大橋 心愛

岡田 華鈴

加藤 光



津田学園高等学校

〒511-0904 三重県桑名市野田5-3-12
TEL (0594) 31-6311 / FAX (0594) 31-8179
e-mail koukou@tsudagakuen.ac.jp

詳しくはウェブをチェック!

津田学園高等学校

<https://tsudagakuen.ac.jp/koukou/>



津田学園高等学校公式
Facebook



津田学園高等学校公式
Instagram

